

平成26年度

学校評価（1）

- 保護者アンケート（P2～P5）
- 地域アンケート（P6～P9）

秋田県立雄物川高等学校

平成26年度「学校評価」保護者アンケートの結果と対応について

◇アンケート実施時期 平成26年12月～平成27年1月

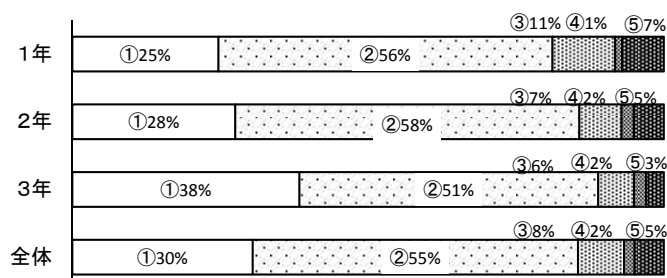
◇回収率 1年生 88.5%(85/96人)
 2年生 81.7%(98/120人)
 3年生 96.1%(99/103人)

合計88.4%(282/319人)

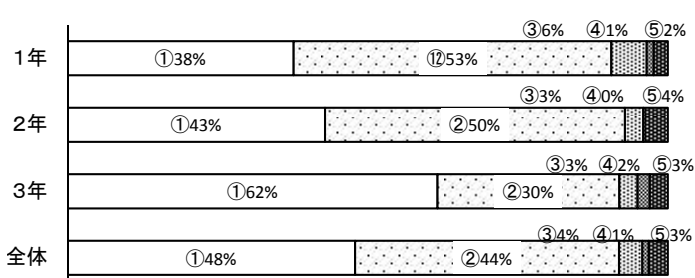
□平成26年度「保護者アンケート」結果



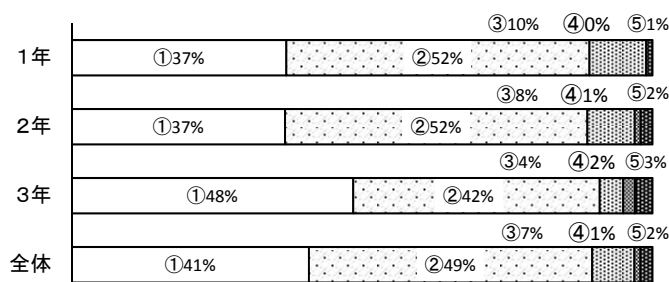
問1.基礎の徹底と学習意欲の向上...
 主体的に探求させる授業展開「授業改善・教材開発の推進」



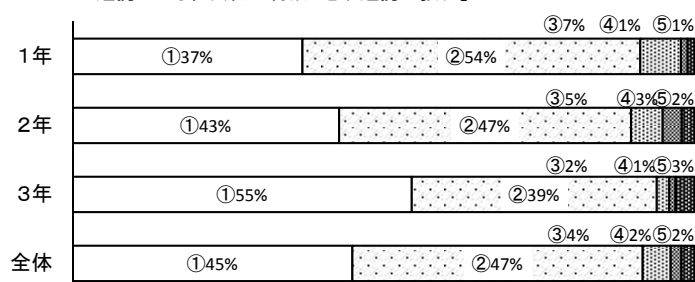
問2.進路目標の達成と自己実現...
 進路サポート体制の充実「全職員による面談の推進」



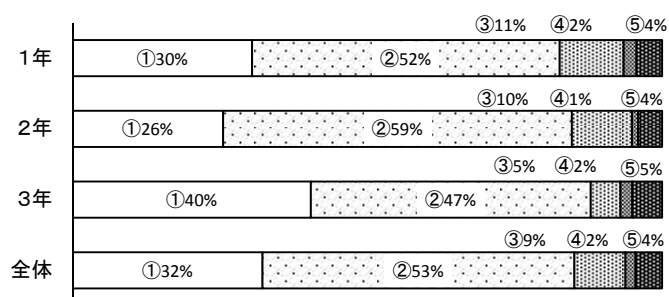
問3.自立した社会人の育成...
 挨拶、正しい整容、道徳心の定着「保護者との連携強化」



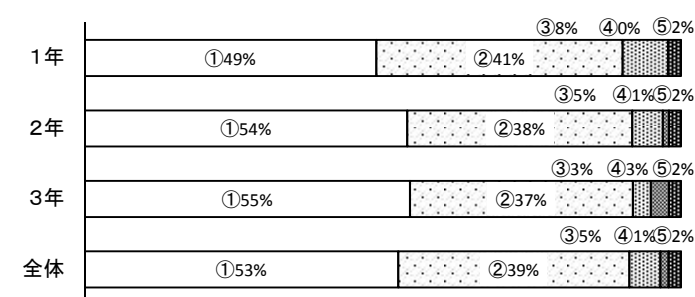
問4.心豊かでたくましい生徒の育成...部活動の推進や地域等との連携による社会性の育成「地域連携の強化」



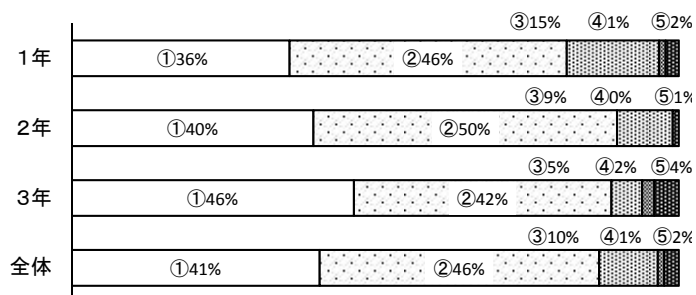
問5.内外への情報発信(HPの充実)・
 キャリア教育の推進と人材育成(大学や地域との相互交流)



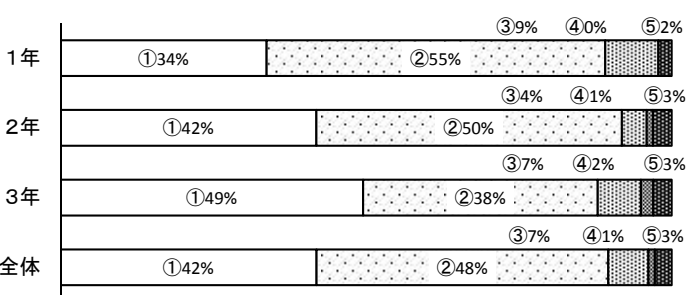
問6.あなたのお子さんが本校に入学したことに
 良かったと思いますか。



問7.あなたのお子さんは、高校生活の中でより良く成長している
 と思いますか。

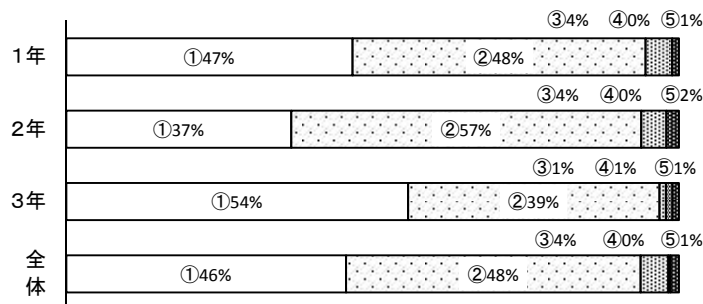
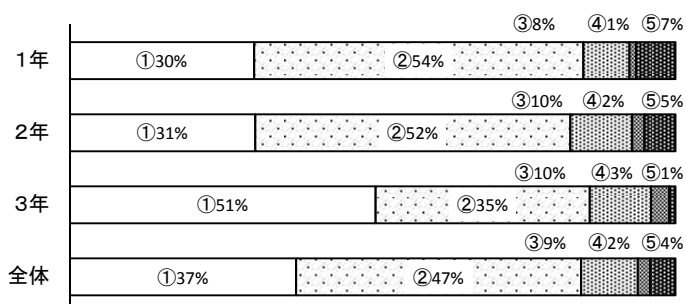


問8.本校の「しつけ指導」や「生活指導」は、よくやれていますか



問9. 本校は、お子さんの進路達成に向けて保護者の期待に応える努力をしていますか。

問10. 保護者の皆さんにとって、雄物川高校は良い学校だと思えますか。



□保護者アンケートの分析や回答

1. ①「そう思う」と②「ほぼそう思う」の合計について、5カ年比較など

(※表中の数字はすべて%、空欄は設問項目の内容が違っていたため表記できず)

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
H22	89	94				94	88	91	96	
H23	94	96	95	93	93	96	93	94	87	95
H24	89	93	93	93	91	91	96	91	86	93
H25	88	93	91	94	87	93	91	91	86	95
H26	85	92	90	92	85	92	87	90	84	94

- ①「そう思う」、②「ほぼそう思う」の合計は、今年度も過年度同様すべての項目で80%を超えており、保護者の皆様からの高い評価をキープできていると考えている。
- 問1～10まですべての質問項目において、①の「そう思う」の数値が一番高かった学年は、3年であった。例年その傾向が見られるが、今年もそうであった。特に問9の「進路達成に向けて本校が保護者の期待に応えているか」では、①の「そう思う」を学年別に比較してみると、1年は30%、2年は31%、3年は51%で、3年が他学年を圧倒している。やはり、就職なり進学なり、きちんとした進路の結果が出て初めて良い評価が下されることになるという解釈ができる。
- 問6の「お子さんを本校に入学させて良かったと思うか」という項目について、①+②が92%という高い数字を維持できたことに対し職員一同素直に喜んでいる。今年度の締めくくりとしては胸をなで下ろすデータであった。次年度についても、PDCAのサイクルを通して学校運営を捉える視点を重視し、雄物川高校の学校力を高めることに努めなければならない。

2. 反省や課題などについて

各項目について、わずかながらではあれ、③そうは思わない(そうでもない)、④全く思わない(やれていない)などに数字があがっている。これについて、コメント欄にその根拠を書いていただくよう促すなどの工夫をすれば、その意図がこちらに伝わる可能性があった。次年度は改めたい。

3. 自由記述に対する本校の対応について

高い評価や激励の表現が数多く寄せられている中で、学校側への課題のご指摘やご要望等に関して重要と思われるものを取り上げ、私共の考えや今後の取り組みなどを述べさせていただく。

【学習面】

- ・各教科で宿題を出してほしい。
- ・学力向上のために、授業の雰囲気などを改めてほしい。

(1・2年保護者)

⇒ 本校では、各教科で分かりやすい授業・目標を明確にした授業を心がけており、「中学校時代より理解できるようになった」と口にする生徒が少なからずおります。ただ、家庭学習が不足している生徒が多く、全校で「**自学ノート**」に取り組ませたりするなどの工夫を行っています。毎日担任（又は副担）がチェックし、コメントを添えて返却することによって生徒の意欲を高めようとしています。また、**週末課題**も各学年で計画的に実施しており、成果も徐々に出てきているところです。授業においても、**グループ学習、ICT機器**の活用など新しい取り組みが出てきています。

どの学校においても、「**自主的に学習する態度**」は生徒に求める究極的なものです。高校生くらいの子どもたちにとって、自ら進んで行う勉強というのは、目標が明確であったり、勉強する大切さを理解したりしていなければやれないことです。学校側としましては、本人に目標を持たせ、その気にさせるような指導を徹底し、教科指導を中心に日常の各方面で鋭意努力するつもりです。ただ、学校現場だけでそれを成し遂げるには無理があり、学校と家庭の両方から子どもの成長を支えていくところに、そのきっかけがあるようにも思われます。(教務部門担当者)

【進路面】

- ・進路に向けての指導や情報提供等、ありがたかった。進路が決まるまで、先生方にはお世話になった。今後も、子どもたち一人ひとりに即した指導を期待したい。
- ・全職員による面接指導はありがたい。

(3年保護者)

⇒ 進路指導に対しまして、毎年このようなご意見をいただき、大変ありがたく思っております。本校では毎年、生徒自身が夢や将来の目標を達成できるよう、全職員が最大限サポートし進路実現を達成できるよう取り組んでおります。そのためにも、より早い時期からご家族で、話し合いの場を設けていただき、本人のみならずご家族の意向も加味して進路希望を明確にさせていただくことで、より一層具体的なサポートができますので、実現の可能性がさらに大きく広がると思います。進路に対してのご家庭におけるご協力、誠にありがとうございます。

また、希望の進路が実現するためには、何よりも「**本人の3年間の努力**」が必要で、その過程が実を結ぶ最大の要因でもあります。現在は、ほとんどの企業や学校で面接試験を実施しています。そしてこの面接試験で、受験生の様子や態度、受け答え内容等が特に重要視されております。そのため多くの先生方と面接練習をすることは、話し方や対応の仕方を教えてもらう最大のチャンスでもあるわけです。そこで学校側では、生徒の皆さんが積極的に面接練習に向かえるよう、自発的に面接時間をどんどん確保させていく体制を整えております。今までの進路指導の経験上、**面接の練習量は自信と比例**します。進路指導部では、これからも面接練習を強化していきたいと考えております。

今後ともお子さんの進路上の悩みや疑問等について、どんなことにも対応するように努めて参ります。些細なことだと遠慮なさらずに、小さなことでもお気軽にご相談ください。(進路指導部担当者)

【生活面、その他】

- ・挨拶できる生徒を育てていただき、感謝している。(全学年保護者)
- ・三者面談で学校へ行った際、生徒の挨拶のなさがっかりした。(1年保護者)
- ・雄高の先生方は本当に親身になって生徒と接してくれているのが、他校と比べてもわかる。今の時代では、貴重な学校と言えると思う。(3年保護者)

⇒ まず、1～2項目目の挨拶についてです。全国的な活躍を見せる男子バレー部に刺激されてか、ここ数年、吹奏楽部や各種部活動においても大変良い成績を収めるようになりました。こうした実績は生徒に自信やパワーを与えております。そうした自信やパワーが、生徒の挨拶にも表れるようになったとする見方ができると思います。多くの保護者や地域の方々から、生徒の挨拶について、お褒めの言葉をい

いただきました。毎日の「校門指導」ですとか保護者の皆さんによる「朝の一声運動」なども、学校の雰囲気明るく和やかなものになっていると思います。ご協力をいただき、ありがとうございました。

また、悩みを抱きながら元気なく生活している生徒がいるのも事実です。本校は、外部からカウンセラーをお招きし、その助けも得ながら生徒の成長をサポートしております。どうか温かい眼で、応援していただきたく思います。

3項目目については、例年、必ずと言って良いほど保護者のどなたかが似たようなコメントをしてくださいます。本校職員一同、うれしく思っております。そして、今後とも小規模校ならではの今のような指導体制を維持し、さらに良い校風の確立に努めて参る所存ですので、ご協力をお願いいたします。
(生徒指導部門担当者)

平成26年度 各種大会・コンクール等の主な記録

男子バレーボール部
<ul style="list-style-type: none"> ・南関東インターハイ ベスト16 ・東北選手権大会、東北新人大会 優勝 ・横手わか杉カップ 優勝
女子バレーボール部
<ul style="list-style-type: none"> ・県南総体 4位 ・全県総体、春高バレー秋田県予選 ベスト8
吹奏楽部
<ul style="list-style-type: none"> ・全日本吹奏楽コンクール秋田県大会小編成の部 金賞
陸上競技部
<ul style="list-style-type: none"> ・全県総体 女子砲丸投げ 2位（東北大会出場）、女子やり投げ 3位（東北大会出場） ・全県新人 女子フィールド総合 2位
柔道部
<ul style="list-style-type: none"> ・県南総体 女子個人 2位（2人） ・県南新人 女子個人 2位
卓球部
<ul style="list-style-type: none"> ・全県総体 女子学校対抗 3位（東北大会出場） ・全県新人 女子学校対抗 ベスト8
男子テニス部
<ul style="list-style-type: none"> ・県南総体 男子学校対抗 3位 ・県南新人 男子学校対抗 2位
野球部
<ul style="list-style-type: none"> ・県南秋季大会 3位
美術部
<ul style="list-style-type: none"> ・県高等学校総合美術展 推奨1名、入選8名
PC同好会
<ul style="list-style-type: none"> ・全県高等学校ワープロ競技大会 団体競技 3位
簿記
<ul style="list-style-type: none"> ・全県普通高校簿記実務競技大会 団体競技 優勝

平成26年度「学校評価」地域アンケートの結果とその対応について

秋田県立雄物川高等学校

◇アンケート実施時期 平成27年1月

◇実施対象

トラスト・マックスバリュ雄物川店・商工会・雄物川町体育館・里見郵便局・なをこそばや・羽後交通・平鹿自動車学校・横手自動車学校・横手明峰中学校・平鹿中学校・十文字中学校・東由利中学校・雄物川北小学校・南小学校・福地小学校（学校関連はすべて職員）

◇回収率

民間企業等 85.3% (29/34人)
 小中学校職員 97.1% (33/34人) **全体 88.4% (62/68人)**

◇質問項目の設定理由

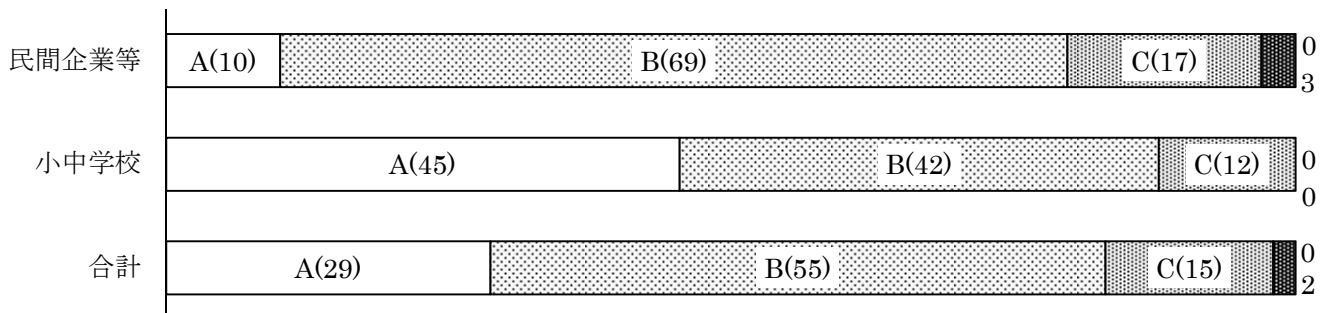
保護者アンケートのような、学校の細部にわたるチェックのお願いには無理があります。したがって、地域の方々から見る雄物川高校生像の確認や、そこから学校の指導のあり方等を検証できるようなシンプルな質問項目が良いと思い、生徒の**基本的な生活習慣に関わる部分**に限定しております。

1. 調査結果

◇問1～問5について ※グラフ内の数字はすべて「%」である。

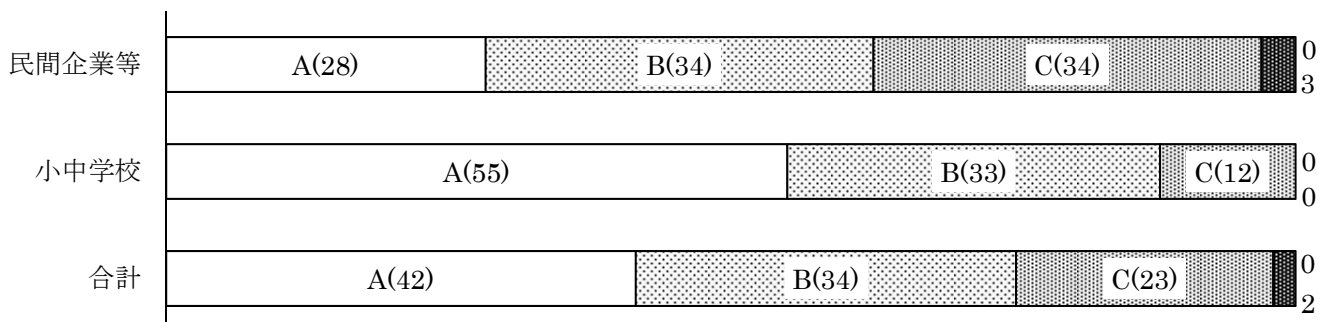
問1. 今年の本校生徒の全般的な様子についてどう感じですか

- A.立派である (民: 3、小中: 15、計18)
- B.以前に比べれば良くなった (民: 20、小中: 14、計34)
- C.以前と特に変わらない (民: 5、小中: 4、計9)
- D.以前に比べて悪くなった (計0)
- E.不快感を感じる (民: 1、小中: 0、計1)



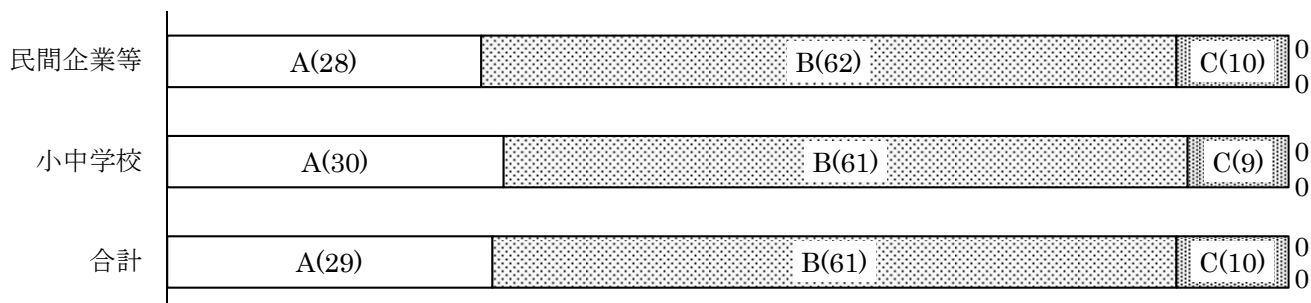
問2. 本校生徒の挨拶についてどう感じですか

- A.さわやかで良い (民: 8、小中: 18、計26)
- B.おおむね良い(民: 10、小中: 11、計21)
- C.生徒によってばらつきがある (民: 10、小中: 4、計14)
- D.あまり良くない (計0)
- E.不快感を感じる (民: 1、小中: 0、計1)



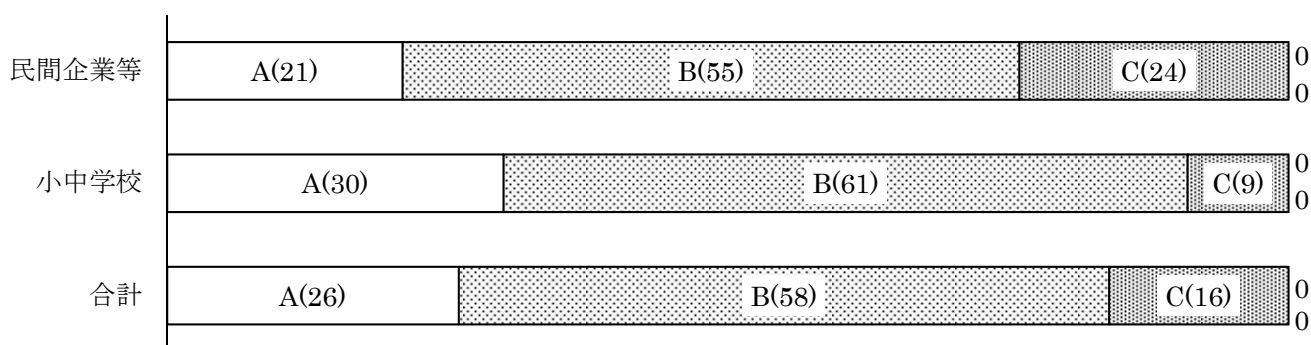
問3. 本校生徒の服装についてどうお感じですか

- A.さわやかで良い (民: 8、小中: 10、計18) B.おおむね良い(民: 18、小中: 20、計38)
 C.生徒によってばらつきがある(民: 3、小中: 3、計6) D.あまり良くない(計0)
 E.不快感を感じる (計0)



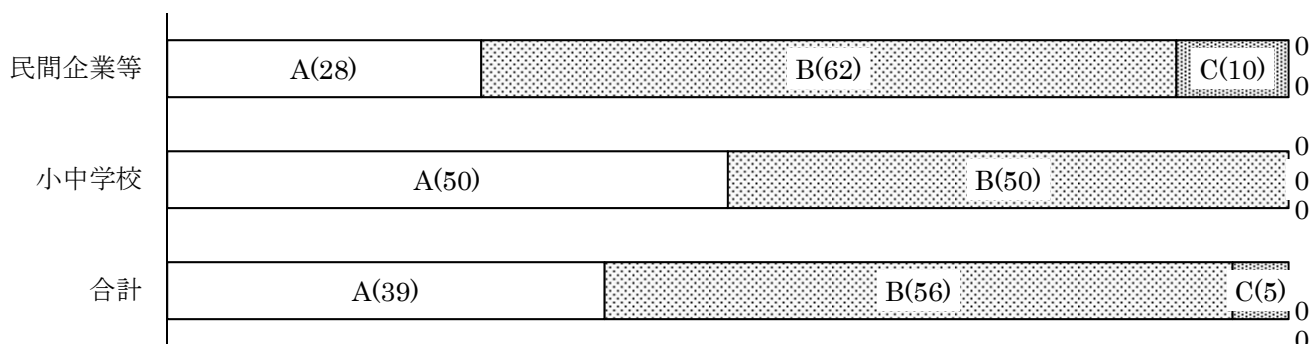
問4. 本校生徒の行動についてどうお感じですか

- A.さわやかで良い (民: 6、小中: 10、計16) B.おおむね良い (民: 16、小中: 20、計36)
 C.生徒によってばらつきがある (民: 7、小中: 3、計10) D.あまり良くない(計0)
 E.不快感を感じる (計0)



問5. 本校の生活指導の印象はいかがでしょう

- A.指導がかなり浸透している (民: 8、小中: 16、計24) B.指導がまずまず浸透している(民: 18、小中: 16、計34)
 C.指導があまり浸透していない (民: 3、小中: 0、計3) D.指導が全く浸透していない(計0)
 E.指導に間違いが見られる(計0)



2 問1～問5についての3カ年比較比較、他

以下の表は、A「立派、さわやか、指導が行き届いている」とB「概ね良い、指導がまずまず浸透している」の合計と、C「以前と変わらない、生徒にばらつきがある」についての3カ年比較です。

※表中の数字は、すべて%である。問5のCは、「指導があまり浸透していない」という項目。

	問1		問2		問3		問4		問5	
	A+B	C	A+B	C	A+B	C	A+B	C	A+B	C
H24	87	13	73	27	88	12	91	9	100	
H25	90	10	83	17	88	12	93	7	100	
H26	84	15	76	23	90	10	84	16	95	<u>5</u>

どの設問についても、A+Bで見ると、上の図表で示しているとおおり、ほぼ例年どおりの高い数値となっております。問5のC（「指導があまり浸透していない」）が5%（実人数3人）となっている点についてですが、職員間で話し合いをした中で、詳細な検討がなされております。

また、自由記述欄については、やはりお褒めや励ましの記述が例年どおり多く、評価していただいていると実感しております。

学校の評判が悪くなれば、回答の数字などに必ず変化が起こるはずですが、非常にシンプルなアンケートではありますが、こうした作業を怠ることなく次年度も取り組み、またその都度問題点があれば職員間で真摯に汲み取り対応を練るなど、学校運営に生かしていくつもりです。

3 自由記述に対する本校の対応について

【挨拶や服装、部活動の成績等について】

- ・校外でも、「おはようございます」「こんにちは」等の挨拶ができています。
 - ・笑顔があり、学校生活が充実していることが伝わる。
 - ・一部、スラックスをまくりあげるなど、がっかりさせられる生徒がいる。
 - ・食べかすなどのゴミを道路に捨てた生徒を見かけた。
 - ・男子バレー部を中心に各部が大活躍を見せ、その他の部活動も頑張っているのは素晴らしい。中学生の模範となっている雄高生もいる。今後とも、雄高の活躍を期待したい。
- （トラスト様、雄物川体育館様、商工会様、近隣小・中学校様など）

⇒ 本校は**各種部活動が盛ん**で、そういう意味では各方面で元気の良い挨拶が見られるように感じられます。男子バレーボール部の全国における活躍をはじめとし、吹奏楽部の全県大会金賞受賞、各運動部における県南・全県大会での入賞など、ここ数年、部活動の勢いは続いています。また、普通科の全県簿記大会やワープロ大会での上位独占もここ数年間の実績です。こうしたことが生徒に自信を与え、学校のパワーにもつながっていると考えております。

毎日の「校門指導」ですとか保護者の皆さんにも協力していただいている**「朝の一声運動」**なども、学校の雰囲気明るく和やかなものにする背景となっているかもしれません。ちなみに、平成26年度において「朝の一声運動」の保護者協力総数は延べで57人（15回実施）でした。多くの保護者の方々にご協力をしていただきました。

3～4項目目の「校外での着こなし」や「校外での行動」についてですが、校外に目を向けての徹底した指導には限界があります。小さなことでも気になることがございましたらどんなことでも構いませんので、学校に連絡していただけるとありがたいです。

今後もすべての生徒が、誰とでもしっかりと挨拶ができるように、また場面に応じた整容をしっかりと心掛けるように指導し、地域から愛され応援していただける学校づくりに努めて参ります。

【近隣の学校や地域との連携について】

- ・保護者や地域を巻き込んだ取り組みは素晴らしい。
- ・定期演奏会に来校してくれた際の雄高生の行動は、中学生の模範であった。
- ・次年度の「ははは祭り」にも、雄高吹奏楽部に出てもらいたい。

(横手明峰中学校様、平鹿中学校様、十文字中学校様、商工会様)

⇒ 本校吹奏楽部に対する、数多くのお褒めの言葉や温かい声がありました。それを踏まえて、本校吹奏楽部顧問の大滝によるメッセージをご紹介します。

「日頃から雄物川高校へのご支援、そして本校吹奏楽部への温かい応援ありがとうございます。我々の音楽活動は、コンクール等の大会で優秀な成績を収めることよりも、地域貢献、地域活性化を第一に考えております。保護者や地域の方々の演奏に対する「感動した」「頑張ってる」という声が私たちに頑張らせてくれます。その温かい声に感謝をし、今度は私たちが「感動」を届けることが何よりの目標です。今年度は新たに「雄物川町芸術文化祭」「雄物川町クリスマスチャリティコンサート」に出演させていただきました。さらには朝日ヶ丘児童館、湯沢保育園での小さな子供たちの前でも演奏することができました。多くの方々に喜んでいただき、定期演奏会も盛会に終えることができました。音楽活動のみならず、音楽から「生き方」「在り方」を学び、生徒の良き経験となればと思っております。これからも皆様に愛されるバンドを目指していきたいと思っております。」